

事業計画策定のスケジュールについて（A・B・Cグループ）

<Aグループ>

☆ 事業計画策定のスケジュールについて

○ 組織スタッフ

- ・部会員のメンバーを倍程度に増やし、活動可能員数を増やす。
- ・未組織へのアプローチを具体的にする。
- ・事業の枠組みと組織体制の調整。
- ・依頼先の人材バンク（指導者）

○ 計画

- ・現状の活動の範囲の洗い出し。
- ・問題のない範囲で共働で行う。
- ・老若男女が参加出来る活動は難しいので、範囲を分ける。
- ・親子で参加出来る活動を考える。
- ・長続きする活動（・無理をせず ・目標を持ち ・変化をつける）
- ・メンバーは？事業部が中心になり、個人的に呼びかけていく。
- ・魅力的事業だと勝手に始まるだろう。
- ・会議スケジュールは？4月中に数名のメンバーで、第1回会議を開く。
- ・月1回の会議を実施。
- ・自治振興会として取り組む事業の絞り込み。

○ 実施

- ・体育指導員の補助を受ける。
- ・ニュースポーツの紹介。
- ・定番のスケジュールを選定する。（例：防災訓練・体育祭）
- ・定番+毎年変わった事業もいくつか考える。
- ・各事業の反省と住民のニーズのすり合わせ。
- ・目的①
 - ・独居の方々の安らぎの場
 - ・子どもと老人のつながり
 - ・特産物の発案
 - ・まちづくりを話し合う
- ・目的②
 - ・よせ、音楽を楽しむ場
 - ・地域、他地域の方々のコミュニケーション
 - ・特産物の販売
 - ・草の根の会議場所

○ 調査

- ・住民ニーズの吸い上げ方案の検討。
- ・各地域の住民さんにアンケートを取る。（どういう事を希望するか）
- ・アンケートを取る。（平成23年度に防災アンケートを取って有効であった。）

- ・具体案が書きやすいよう工夫する。
- ・現状＋問題点＋夢・希望

○ 広報

- ・回覧文書だけでは、浸透しにくい。
- ・各戸配布で徹底する必要がある。
- ・まちづくり協議会の宣伝車でイベントを呼びかける。
- ・アパートの人達、区入りしていない人にお知らせする各戸に情報の配布。
- ・水口ケーブルテレビで活動を流す。
- ・来て頂けるよう呼びかける。
- ・自治振興会そのものの広報活動が必要。

○ 場所・しくみ

- ・住民参加の、仕組み作り。(難しい)
- ・区民の自主参加が得にくい。(協力性がない。)
- ・テーマ「よりどころ」仮名の起ち上げ。
- ・平成 26 年度に完成すればいいな。

<Bグループ>

☆ 事業計画策定のスケジュールについて

- 事業計画に対して実行出来ていない行事が多い。

↓

船頭が多い。

- 計画提出（案内状）

↓

内容確認されていない

↓

すぐに屑箱へ

- 会の人数を増やす

- ・区長が連れて来る（ノルマを課す）
- ・子どもから男の人(老若男女)まで参加出来るような事業を各部会で考える。

- 中学校のクラブ活動のボランティア部を活動する。

↓

地域リーダーを育てる

- 年度初めに各事業の運営委員会を作る

- ・これが最初！！
- ・各部会から数名出す。
- ・交流を図り、事業の重なりを防ぐ。

- 各部会が独り歩きしているので連携を計る

○ 農業祭のミニイベントのようなものを開催する

・人を集める為、次のような事を行う

- ・ヒップホップダンス大会
- ・ミニ動物園
- ・フランクフルト焼いたり
- ・グラントゴルフ
- ・吹奏楽の演奏
- ・金魚すくい
- ・ボールすくい
- ・ダーツ
- ・屋台
- ・水口囃子
- ・笑いヨガ
- ・フリーマーケット
- ・地産地消

<Cグループ>

☆ 事業計画策定のスケジュールについて

- ・地域住民全員へのPRは活動を通して見てもらう。
- ・仕事を持っている人も多い為（土曜日・日曜日）特に、日曜日の活動を重くしてほしい。
- ・親子等、全員参加の事業を増やしてほしい。（例：キャンプファイヤー等）
- ・各家庭への広報の徹底。
- ・役員は、数年程度の人気が必要。→ 落ち着いた活動をするべき
- ・事業活動に住民の参加を・・・
- ・多少の手当てもいるのではないか。
- ・一人住い老人（安全、防災の情報）は、市・県行政の必ず知らしめるべし事項として、自治振興会活動から切り離す。
- ・民生・児童委員の担当される地域は、区割り（自治会）のテリトリにより広汎であり、これを資金割振り上、同一は難しい。
- ・綾野ゆうゆうクラブで数年主として山歩会に参加。年間数回～10 数回（ハイキング、ウォーキング）個人的に活動している。

↓

更なる参画者の入会も重要か？（何故なら高齢化に伴う）

- ・区長が行政の最先端窓口として動ける範囲は限られるため→より行政に近い役職名で本来の行政でしか出来ない仕事をやり、まちづくり協議会活動の各部会活動（環境部会除く）とは別にしては！！

- ・西部地区から、この秋の選挙で一人市会議員を出すべきか。
 - ・事業計画の承認が遅すぎる。
 - ・4月から始まらず進行が遅れる。
 - ・区長の交代（理解期間）、新区長が参加する時は2か月前から。（4月より前、2月から理解）
 - ・自治振興会の働きや動きをもって、区民に理解してもらう。（区民への理解活動）
 - ・今までの区長経験者の活動が不十分。（区長が終わると自治活動に協力するのが少ない人が多い。）
 - ・区民と自治会（振興会）との交流する場をもっと作る事。（まずは、全員参加出来るスポーツから。）
 - ・行政の一環としての必要不可欠の事業（市道の補修等）と任意の活動は、一線を画し予算も明確に区分すべし。
 - ・3月に八日市及び岩根の先進まちづくり協議会の見学に参加させて貰ったが、この中で女性・子どもを巻き込んだ活動も重要。
 - ・1年毎の区長経験者を如何に長く活動に参画させられるか。
 - ・事業計画に必要なことを議論し、計画を策定していく。
- (1) 自治振興会の活動の方針を決定する。
 - (2) 方針の中で、大切なことを具体的に決めていく。（重点目標の決定）←5~6点
 - (3) →(1)(2)を具体化した活動項目を作っていく。（6部会全てが）
- ・防災組織を明確に作っていく。（出来ているところもあると思うが）但し、綾野地区全体ではなく各区で、各自治会で地域内にある。（マンション、アパート毎に区入りしてない方が多いので難しいと思うが、区入りしてない人こそ非常時に必要）
 - ・綾野自治振興会とは、どの様なものか？
 - ・どの様な活動をしているのか？
 - ・地域の住民にとってどの様な利点があるのか？
 - ・どの様にそれを知らしめるのか？その方法は？
 - ・だれもが自由に参加し、話し合ったり、協力し合ったり出来る気をつかわなくていい会を作っていく様にする。
 - ・西部自治振興会、綾野学区まちづくり協議会、綾野自治振興会、綾野学区区長会等々、色んな会が多すぎて分からない。役員もダブっている。
 - ・現在既に行っている事業（行事）の住民への周知徹底を行う。（知らない人が多いのでは・・・？）
 - ・住民にアンケートを取り、それにもとづいた活動にする。
 - ・スケジュールを立てやすい様に役員は、1期で2年単位としていくことでスケジュールがやりやすくなる。
 - ・どんな事がしたのか？して欲しいのか？アンケートの実施。
 - ・住民が参加しやすいスポーツイベントや催事を多くしていく事で活動を増やしていく。
 - ・まちづくり振興会が行なおうとしている事、何の為にを行うのか？等、十分な説明を

行う必要がある。(皆が前向きになっていない!!)

- ・小学校、中学校など参画してもらい、小さい子どもから老人まで入る様になり、皆で進める活動にしていく。

組織・人（公募、区・自治会、各団体など） （D・E・Fグループ）

<Dグループ>

★組織・人（公募、区・自治会、各団体など）

○どんな問題・課題があるのか

- ・未組織区域の子ども会を通じたPR
- ・広報部会を作って未組織区域にPRしていく
- ・自治振興会の任期が1年では短い
- ・区長会の区長さんの任期が1年では何も理解されないうちに終わってしまう。
- ・どのように自治振興会のPRをしていくか。子ども会、学校等に働きかけていけばどうか
- ・未組織の3つの地区の内、的場・南林口は本まち協が設立当時から自治会組織ができていないことが課題に上がっている。2つの地区は自治会組織をつくることについて口火を切ると役員になるからという理由で住民の中にその気運が作りにくい状態にある。南林口にはその話を聞く人はいたが、的場にはいなかった。
- ・通学（小学生の）関係で分団が本丸と的場が一緒になっているのか？
分団の経費でお別れ会などされるときに区の方は経費があり、的場の子どもは区
の経費の恩恵を受けているような話を聞いたが…本当かどうか？
- ・未加入の人達の自治会設立の推進
- ・もっと広報するための事業部会（広報専属）

- ・高齢者のサロンや百歳体操をPRしていく。（参加したいと思っている人もいる
と思う。）

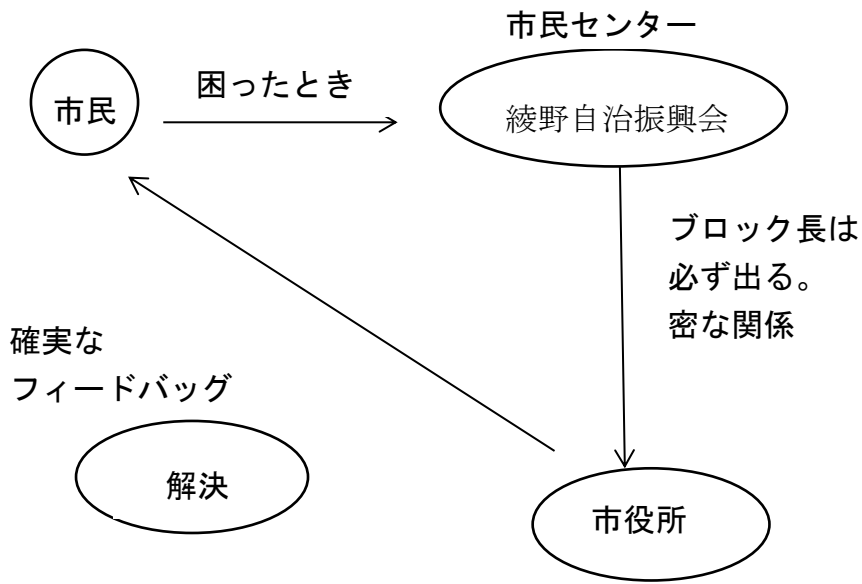
<Eグループ>

★組織・人（公募・区自治会・各団体など）

- ・水口庁舎、聞いても何も返事・応答がない。
- ・市民の要望の受けざらとなる組織。
- ・民生委員の選定期の違い。
- ・全員参加に問題あり。
- ・他の地区は、新入居者はどの様に扱われているのか？
- ・水口庁舎→綾野自治振興会→住民との気持ちのふれあい。
- ・住民が頼りになれる組織となる。
- ・理事会に、区長4ブロックを入れる。
- ・理事会の理事は、現区長の参加が望ましい。
- ・区民の身になって窓口を1本化して、スムーズに循環する様に。
- ・組織の件

↓

区長・自治会の会議は、一緒にやる
各役職の人は数年やる。



市民から信頼される振興会作り

<Fグループ>

地域住民の方が多く参加できるように

○地域理解部会

①まちを知る

②未組織地区 ← マンションが多い

○民生委員から

老人クラブ

○若い人が少ない

↑ 解決

・若い人にしかできない事業

・青年部会